

一般社団法人全日本機密文書裁断協会 第12期（2025年度）事業計画

方針

近年、デジタル化やITの進歩などによるペーパーレス化により、紙の需要が減少し、本会を取り巻く環境も大きな変化が起きております。この状況に対応するため、可能な限り会員各位のご意見ご提案をいただきながら、正しく有益な情報を見極め、会の活性化や知名度向上等に向け、広い視野を持った活動を図ってまいります。

今期よりブロック活動の活性化と効率化を目的に、首都圏ブロック会と北関東ブロック会を関東ブロック会として統合し、全国9ブロックに再編いたします。また、紙材等の大切な資源が有効に再利用される持続可能な循環型社会の実現のため、機密抹消事業の地位向上を目指し、他団体との意見交換や、機密文書の直接焼却が行われる現状に対する各行政への働きかけに継続して取り組みます。

本会は、永年紡いできた歴史があります。しかし発展には、明確な目的と勇気を持って果敢に挑戦し、取り組むことが必要です。これからも市場に選ばれる国内最大級の裁断事業リーディングネットワークとして、歴史を継承しながら、将来を見据えた活動を展開し、会員各位ならびに本会発展を推進してまいります。

1. 裁断業務の品質対策

（1）定例研修勉強会の実施

機密文書の裁断事業に求められる知識と実務能力の向上の場として、取り巻く環境や地域的な特性等の実践的な内容に関する実務者を対象とした研修勉強会を計画いたします。

今年度の研修勉強会は、会員間の活発な意見・情報交換を図るため、全国を2グループに分け、会場集合型の実務者向けグループディスカッションを実施し、会員間の更なるネットワーク構築を推進いたします。

（2）表彰制度

情報漏洩防止と、環境に対する意識向上及び取り組みの推進を目的に、会の発展に寄与もしくは社会貢献活動に積極的に取り組んでいる会員企業の表彰を行います。

（3）機密文書裁断抹消処理士の運営

「更新制度」により今年度は認定者の登録状況の確認、再教育を行います。また、「ランクアップ制度」は制度開始から5年目を迎え、最上ランクである「マイスター」の申請を今年度から受け付けます。定められた認定基準に加え、「高度な技術」、「豊富な知識」、「後進の育成」に優れ、処理士の模範となる方や、本会の活動への積極的な参加及びご協力をいただいている方を各地区ブロック理事の推薦を得た後、理事会にて認定審議を行います。業務品質維持関連の各制度を通じ、確かな「技術」「品質」を維持・向上させ、市場に選ばれる本会「裁断サービス」のブランド力強化を目指します。

（4）会員企業間の連携強化

会員企業間の連携強化を図るため、今年度もブロック活動助成金制度を継続いたします。例年と同様に、1ブロック会の助成金上限額10万円を原則としますが、地域展示会の出展等による「会の知名度向上」および「裁断サービスの普及」に取り組むブロック活動費が10万円を超える場合については、申請内容を理事会で審議の上、賛否を決定することとします。会の情報交換や交流を深めることで、文書裁断サービスの全国組織として、その連携機能を最大限に活かし、サービスの品質向上と本会更には業界の活性化に結び付けます。

2. 広報宣伝活動

本会HPの集客効果を高め、会員各社HPへの送客率向上を目指し、「リスティング広告」の継続と「リターゲティング広告」の併用展開、および、「本会LINE公式アカウント」と連携した「会員ブログ」は、引き続き会員各位にご協力をいただきながら「我が社のシュレッダーサービス」をテーマに5巡目を計画しております。また、HPを訪れるユーザーに、裁断サービスをより理解してもらえるよう「裁断サービス紹介動画」(YouTube掲載)の内容を見直し、新たな動画作成に取り組みます。これらの施策を通じ、裁断サービスの普及推進、並びに会の知名度向上に取り組んでまいります。

3. 組織力の強化

組織の充実・強化を図るため未導入地域への展開、賛助会員制度を活用し、協会事業の目的に賛同し事業に協力・支援をいただける企業に対して全会員が加入推進に努めます。

4. 環境保護活動の推進・貢献活動の実施

(1) 文書リサイクルの促進

資源保護の観点から、文書裁断サービスの必要性を訴求し、事業を適正に推進することで、紙資源のリサイクルを促進し、循環型社会の実現に寄与します。

(2) カーボンオフセット事業

機密文書の裁断サービスは、ご利用の際のエネルギー消費によって、二酸化炭素がやむなく排出されてしまうため、「カーボンオフセット」に取り組み、二酸化炭素をオフセットすることで、より環境に配慮した安心・確実なサービスを提供いたします。また、今年度も森林保護団体 一般社団法人 more trees が提供するサービス「法人サポーター制度」を活用し、予算上限を設定のうえ HP のアクセス数に連動したカーボンオフセットの取り組みをはじめ、年間賛助会員として外部への訴求と、豊かな森を後世に残す社会貢献活動を支援して参ります。